

美浦村ふるさと応援寄附 (ふるさと納税)の状況報告

平成27年1月1日から12月31日までにいただいた寄附の件数は1,021件、金額は21,515,710円でした。寄附金は「人と自然が輝く美浦村づくり」のため、次の事業において予算を計上し、活用させていただきました。寄附をいただいた皆さまのご厚志に深く感謝申し上げます。

平成27年中にいただいた寄附金

寄附金の使途の指定種別	件数	金額
歴史遺産や自然環境の保全と活用に関する事業	129件	2,471,330円
「競走馬の里美浦」をひろくPRするための事業	110件	2,126,000円
地域活性化に関する事業	101件	2,155,000円
福祉社会構築に関する事業	59件	1,359,280円
安全安心なまちづくりに関する事業	47件	1,008,000円
子育て支援・学校教育等次世代育成に関する事業	312件	6,192,100円
個性ある地域文化・スポーツの創造に関する事業	27件	464,000円
その他日的達成のために村長が必要と認める事業	236件	5,740,000円

引き続き「美浦村ふるさと応援寄附金(ふるさと納税)」を募集します！

村では、「美浦村ふるさと応援寄附金」を継続して募集しています。「ふるさと美浦」を愛する多くの皆さまからのご支援・ご協力をお待ちしています。

みほ文芸

正調俚謡 日和吟社題「白・酒」二字以上詠み込み有季無季随意

桃の節句に白酒いと孫は婆(ば)の飲みっぷり
縁結んで苦楽の旅路あつという間の友白髪
飲めばほんのり体がほてる揺らす心の雪見酒
香る白梅別れの季節「またね会おう」と春はゆく
祝う白酒ほろりと酔うて「爺」と呼ばれる初節句
酒に酔っては悪たれついで母を泣かせた父懺悔
夫と別れる苦しさ辛さ涙つまみに飲んだ酒
赤い口紅白髪も染めて若く装う我が女房
白いこぶしはひっそり咲いて冬の終わりを告げる花
下戸の爺様白酒飲んで座持ち上手の馬鹿踊り
霞浦の水を白波立てて春を乗せてる東風
白い色紙に寄せ書きすれば君と別れの日も近い
おいし甘酒味わいながらやさし母の香おひなさま
主人ご機嫌いつものお酒窓に微笑む朧月
願う幸せ変わらぬ誓い交わす三三九度の酒
白い梅咲き負けずに咲いた桜ふくらみ春が来た
妻子養う苦勞がみえて撫でてやりたや子の白髪
白い服着てカラオケ舞台歌を聞いたらずっこけた
郷里の友より久しの電話聞けば今夜は酒うまし

三月の俳句(題 当季雑詠)

高齡の里に産声あたたかし
さくら刈りあちこちにある小町の湯
板塀の道の細さよ梅の風
美浦村に住みて六年春香る
はこべらを抜けばビューンと長き根よ
細やかな幸追ふ暮らし黄砂飛ぶ
春場所や期待高まる美浦育ち
子等の声空が吸い込む春の風
眠る山春陽射し込み目を覚す
日脚伸ばさらに丸き背夫の影
さくら餅ほんのりしっとり頬を染む

高橋一步
上野八千代
門脇悠美
沼寄朋香
飯塚筑風
小蘭江久美
長谷川悦子
伊藤葉子
磯西涼香
田島草実
塚本夏雲
石戸葎華
木村幸子
小池きよし
篠原美千代
渡辺希代
山崎笑子
武田かずお
関根秀子
(五十首順)
青野安佐子
石毛恵美子
伊藤八千帆
木澤はしめ
高柳幸子
田島早苗
中島輝子
松葉よし江
松本秀子
宮崎きみ枝
矢原はつひ